

2021年12月6日

関係各位

公益財団法人日本国際フォーラム
理事長 渡辺 まゆ



7月1日の中国共産党創立100年の式典において、中国の習近平国家主席は、「中華民族の偉大な復興」を掲げて建国100年の2049年までに「世界一流の軍隊」を擁する「社会主義近代化強国」の実現という目標を再確認しました。経済成長にともない国力が増大した中国は、グローバルなパワーバランスの変化を牽引し、国際社会では「パクス・シニカ」の到来が議論されるまでになっています。そうしたなか、国際秩序の変化の担い手である中国の内実を理解する必要性、特に中国の対外行動を突き動かしている国内のダイナミクスについての関心が高まっています。

当フォーラムは、令和2年度より、加茂具樹・当フォーラム上席研究員（慶應義塾大学総合政策学部教授）主査のもと、幅広い分野の日本の中国研究者を糾合して、研究プロジェクト「変わりゆく国際秩序における日本の外交戦略—中国の対外行動分析枠組みの構築を踏まえて—」（<https://www.jfir.or.jp/studygroup/sg3/>）を組織し、調査研究を行っております。この度当フォーラムは、その研究活動で得た最新の知見を広く世の中に発表すべく、以下リスト※のとおり、全6回（予定）にわたり、（オンライン）シリーズセミナー「中国を如何に捉え、どう向き合うか 中国の対外行動を突き動かしているダイナミクスを読む」を開催しておりますところ、その第5回目を下記のとおり12月20日（月）に開催いたしますので、ご案内申し上げます。

本シリーズセミナーは、秩序の変化の担い手である中国を如何に捉え、どう向き合うのかを考えるために、中国のいまを形作っている個々の事象を読み解きながら、中国の論理への接近を試みます。第5回目は、「米中間の対立と相互依存をどう捉えるのか」という問いを掲げて、半導体をはじめ米国に依存している中国の産業、また中東地域からの安定的な輸入を米国のプレゼンスに依存している中国のエネルギーにおいて、米中対立の最中に習近平政権がそれらをどのように再構築しようとしているのか、前者については真家陽一名古屋外国語大学教授に、後者については山崎周キヤノングローバル戦略研究所研究員にお話しいただき、これら新たな課題に対する中国の対外政策を理解するための視点を示していただきます。コメントは飯田将史防衛研究所米欧ロシア研究室長が、モデレーターは加茂具樹当フォーラム上席研究員・慶應義塾大学総合政策学部教授が行います。

シリーズセミナー「中国を如何に捉え、どう向き合うか 中国の対外行動を突き動かしているダイナミクスを読む」

第1回：「コロナ後の中国をどう捉えるのか」（2021年8月27日開催済み）

小嶋華津子 慶應義塾大学法学部教授 「コロナ後の中国の政治社会をどう捉えるのか」

飯田 将史 防衛研究所米欧ロシア研究室長 「コロナ後の中国の対外政策をどう捉えるのか」

第2回：「中国の地方の動きをどう捉えるのか」 (2021年9月27日開催済み)

下野 寿子 北九州市立大学教授 「中国の地方政府と台湾」

熊倉 潤 法政大学准教授 「中国の新疆政策における政策課題の変化」

第3回：「中国の国家安全をどう捉えるのか」 (2021年10月25日開催済み)

諏訪 一幸 静岡県立大学教授 「習近平の統一戦線工作」

井上 一郎 関西学院大学教授 「中国政治のなかの中央外事工作委員会」

第4回：「習近平の『新しい政策』をどう捉えるのか」 (11月25日開催済み)

林 載桓 青山学院大学教授 「中国の軍民融合政策の政策過程」

廣野 美和 立命館大学准教授 「国際人道支援としての中国コロナ対応」

第5回：「米中間の対立と相互依存をどう捉えるのか」 (12月20日開催)

真家 陽一 名古屋外国語大学教授 「中国の産業政策の再構築」

山崎 周 キヤノングローバル戦略研究所研究員 「中国の対中東エネルギー外交と米国への依存」

第6回：大澤 武司 福岡大学教授 「政策過程における「中国的特質」を探る」 (仮)

※報告者、報告タイトルなどは現時点のもので、今後変更になる場合がございます。

記

1. 日時：2021年12月20日(月)19時から20時まで (Zoom 開室は18時55分から)

2. 開催形式：オンライン形式 (Zoom ウェビナー)

「Zoom ウェビナー」とは、各自のパソコンやスマートフォンから簡単にご参加いただけるオンライン会議システムです。会合前日までにメールにて、Zoom 参加 URL、パスワード等の詳細を送信いたします。

3. プログラム：

モデレーター 加茂 具樹 日本国際フォーラム上席研究員 / 慶應義塾大学総合政策学教授、学部長

報告 真家 陽一 名古屋外国語大学教授 「中国の産業政策の再構築」

山崎 周 キヤノングローバル戦略研究所研究員 「中国の対中東エネルギー外交と米国への依存」

コメント 飯田 将史 防衛研究所米欧ロシア研究室長

討論 (質疑応答)

4. 参加費：無料 ※定員になり次第締め切りとさせていただきますので、お早めにお申込ください。

5. 申込方法：下記「申し込みフォーム」より、必要事項をご記入の上、事務局宛にご応募ください。

参加ご希望の方はこちらからお申込みください

<本対話に関する連絡先>

日本国際フォーラム事務局 (港区赤坂 2-17-12-1301 [TEL:03-3584-2190](tel:03-3584-2190))